



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

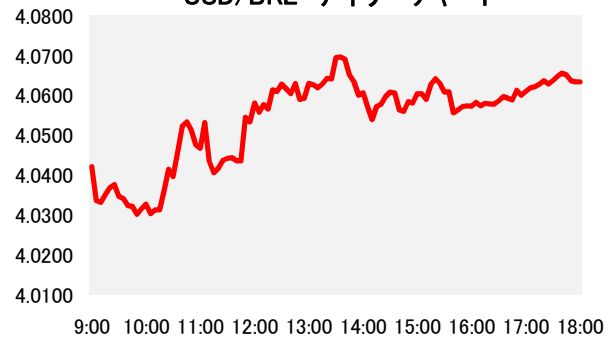
			9月6日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.0620	4.0980	4.0820	4.0680	4.0640	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	26.320	26.180	26.34	26.50	26.62	+0.12
	EUR/USD	Spot	1.1029	1.1049	1.1042	1.1009	1.1068	+0.0059
	USD/JPY	Spot	106.92	107.25	107.54	107.80	108.11	+0.31
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	5.155	5.221	5.222	5.211	5.165	-0.046
	Future	1Year(p.a.)	5.250	5.245	5.239	5.254	5.225	-0.029
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.734	2.761	2.771	2.763	2.793	+0.030
	USD	1Year(p.a.)	2.467	2.480	2.536	2.531	2.570	+0.039
株式	Bovespa指数		102,935.40	103,180.60	103,031.50	103,445.60	104,370.90	+925.30
CDS	CDS Brazil 5y		123.81	123.41	124.66	124.25	120.40	-3.85
商品	CRB指数		172.625	174.311	174.940	173.727	174.457	+0.73

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

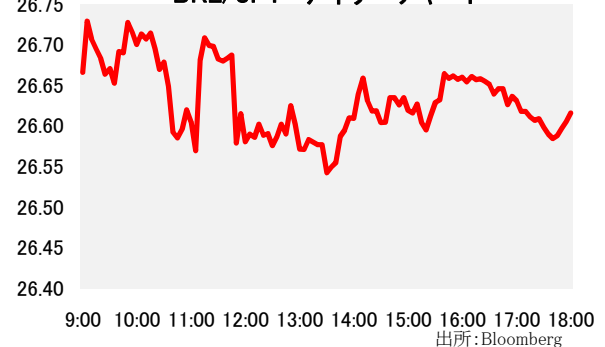
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEサービス部門売上高	0.40%	1.80%	-3.60%
(米)CPI(前年比)	1.80%	1.70%	1.80%
(米)CPI除食品・エネルギー(前年)	2.30%	2.40%	2.20%
(米)新規失業保険申請件数	215k	204k	219k
(米)失業保険継続受給者数	1675k	1670k	1674k

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

(特になし)

4. トピックス

- 本日のレアルは小幅に続伸。欧州中央銀行(ECB)は朝方に開かれた理事会で利下げや量的緩和の再開など包括的な追加金融緩和策の導入を決定。同決定を受けたリスクオンによりレアルは4.0390と強含んで寄り付き、直後に日中高値となる4.0290を付けた。その後も、トランプ大統領の側近らが追加関税の一部先送りや撤回につながる限定的な合意案の提示を検討したとの報道を背景にリスクオン基調が継続する反面、レアルは徐々に上げ幅を縮小し日中安値4.0680まで下落。リスク資産が買われるなか、レアルが売られた背景には大口のアウトフローがあった模様。その後は方向感なく推移し、結局4.0640でクローズした。
- この日ECBIは、預金金利の10bps引下げ、金利階層化、月額200億ユーロの量的緩和再開、銀行への長期資金供給策(TLTRO III)の条件緩和といった包括的な緩和策を決定した。他方、金利階層化に関して最低準備金の6倍相当の金額まではゼロ金利が適用されることが明らかになったほか、ドラギ総裁が会合後の記者会見において今後は財政政策を主要な手段とする必要があると全会一致の認識に至ったと、金融政策の限界を示唆する発言をするなど、必ずしもハト派的と言い切れない内容となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。